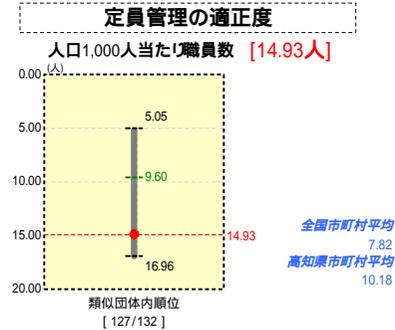
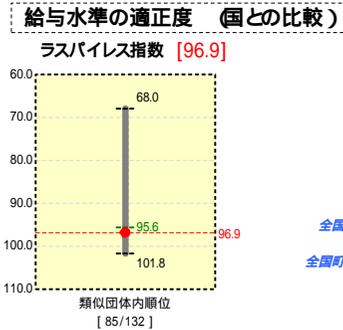
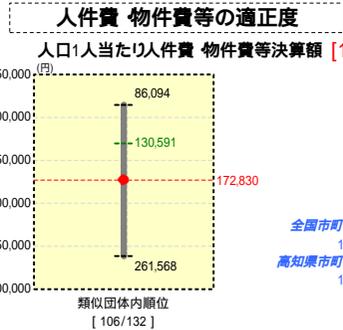
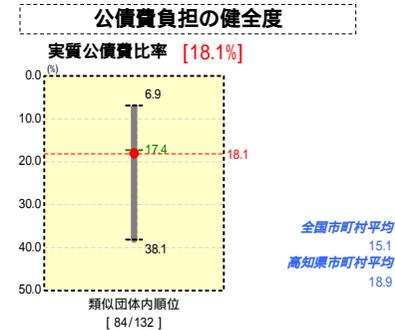
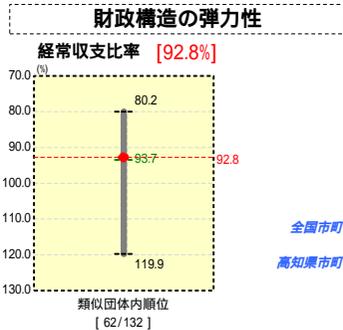
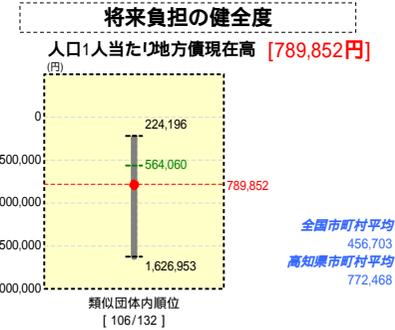
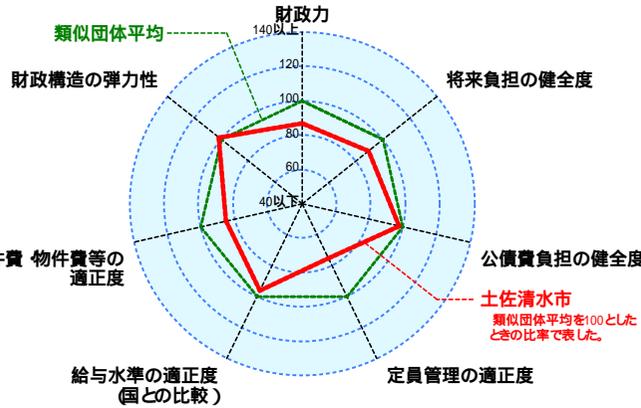
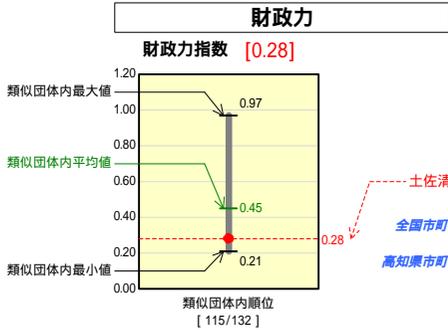


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 土佐清水市

人口	17,688	人(H19.3.31現在)
面積	266.52	km ²
歳入総額	8,799,179	千円
歳出総額	8,743,869	千円
実質収支	28,160	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
過疎化、少子高齢化に加え、長引く景気低迷と、特に給与所得者層の所得減及び法人税等の減収から類似団体平均を下回っている。

【経常収支比率】
団塊世代の退職者に対し、新規採用は1/2以下等により人件費削減及び必要な事業を峻別し、物件費及び投資的経費を抑制する等、類似団体平均を下回っているが、地方税、地方交付税の減少や扶助費等の増加が予想されるため、ポイントが悪化するものと思われる。

【人口1人当たりの地方債残高】
臨時財政対策債等の発行により、類似団体平均を上回っているが、集中改革プラン等による投資的経費の抑制により、前年度をピークに減少している。

【実質公債費比率】
集中改革プラン等により地方債の発行は抑制されているが、地方交付税等の減少、大型事業の元金償還開始等に伴い、類似団体平均を上回っている。公債費負担適正化計画のもとに、人件費、物件費、地方債発行等抑制することで、来年度をピークに減少する見込である。

【人口1000人当たり職員数】
市の面積が広大で、類似団体と比較して保育所、消防署、市民センター等多く配置しなくてはならないため平均を上回っている。集中改革プラン等により、施設の統廃合と事務事業の見直し、効率化、職員数の削減を推進している。

【ラスパイレス指数】
これまで、各種手当については見直しを実施してきたが、給与カットは実施していないため、類似団体平均より上回っている。今後は状況により給与カットも実施しなければならないと考える。

【人口1人当たりの人件費、物件費等決算額】
人口1人当たりの金額が、類似団体平均を上回っているのは、保育所、消防署、市民センター等配置しているため、他団体より人件費が多くなっている。集中改革プラン等により施設の統廃合と事務事業の見直し、効率化、職員数の削減を推進している。